

RISTを振り返ってみると ~夢のあるモノづくり

RIST幹事
金剛(株) 製造本部副本部長
大野 聡



私がRISTを知ったのは、今から27年前の大学院1年生(22歳)の時になります。当時、私が在籍する熊本大学と熊本県産業技術センター様で共同研究申請を行い、研究に取り組んでいました。そのため、自分は1週間のうち火曜～木曜の3日間、熊本県産業技術センター様の設備機械をかりて実験を行っていました。このように熊本県産業技術センター様へ訪問する機会が多かったため、熊本県産業技術センターで開催されるRISTが主催もしくは関係したセミナーに参加する機会が多数ありました。RISTのセミナーは、この時から先進的なテーマに取り組んでいました。私が覚えている限りになりますが、例えば、微細加工技術・NC旋盤を活用したCAD/CAM・3次元SEMなどでした。私自身、大学だけで研究していると、先進的な技術に触れることがありませんでしたので、このようなセミナーに参加できたことは、自分にとって非常にプラスであったと感じています。私と一緒に研究していた学部生も「大学の在籍中、このようなセミナーに参加できるとは思いませんでした。とても面白かったです」と言っていたことを思い出します。

RIST参加者は、熊本県内でも著名な方々が多数参加していたと思います。大学生ながら、この中で仕事ができると『とても面白いだろうな～』と思った次第です。まさか、自分が金剛株式会社に入社してから18年後にRISTに従事することになるとは、全く考えていませんでした。大学時代、RISTに

は多くの勉強をさせて頂きましたので、『何か新事業ができないだろうか?面白いモノづくりはできないだろうか?』と考えている次第です。現業務が多忙のため、新事業を見いだせていませんが、これからも色々の事業に挑戦できればと思う次第です。このように新事業に貢献できていませんので、RISTが開催するセミナーには、弊社の若手社員および中堅社員を積極的に参加させております。セミナー後の交流会にも参加させ、異業種の企業・講師の方々へできるだけ自分と弊社をPRしコミュニケーションをとるよう言っています。これから『コミュニケーション力』はとても重要になってきます。RISTが主催するセミナーや交流にできるだけ参加し社員のコミュニケーション力を伸ばす場として、積極的に活用していきたいと思えます。

最後となりますが、RISTは学生だけでなく企業や公共機関で研究に従事している研究者へ夢を与えるキッカケもしくは場になればと思います。中堅および若手の方々はRISTへ積極的に参加して頂きたいと思えます。コミュニケーションが増えると、必ず良いアイデアが生まれてくると思えます。そこから熊本を活性化できる事業も生まれてくると思えます。是非とも、RIST事務局にはセミナーも大切と思えますが、コミュニケーションの機会が増えるよう積極的に交流会を開催して欲しいと思えます。そして、産学官に従事している中堅・若手に『夢のあるモノづくり』が生まれることを切に願います。